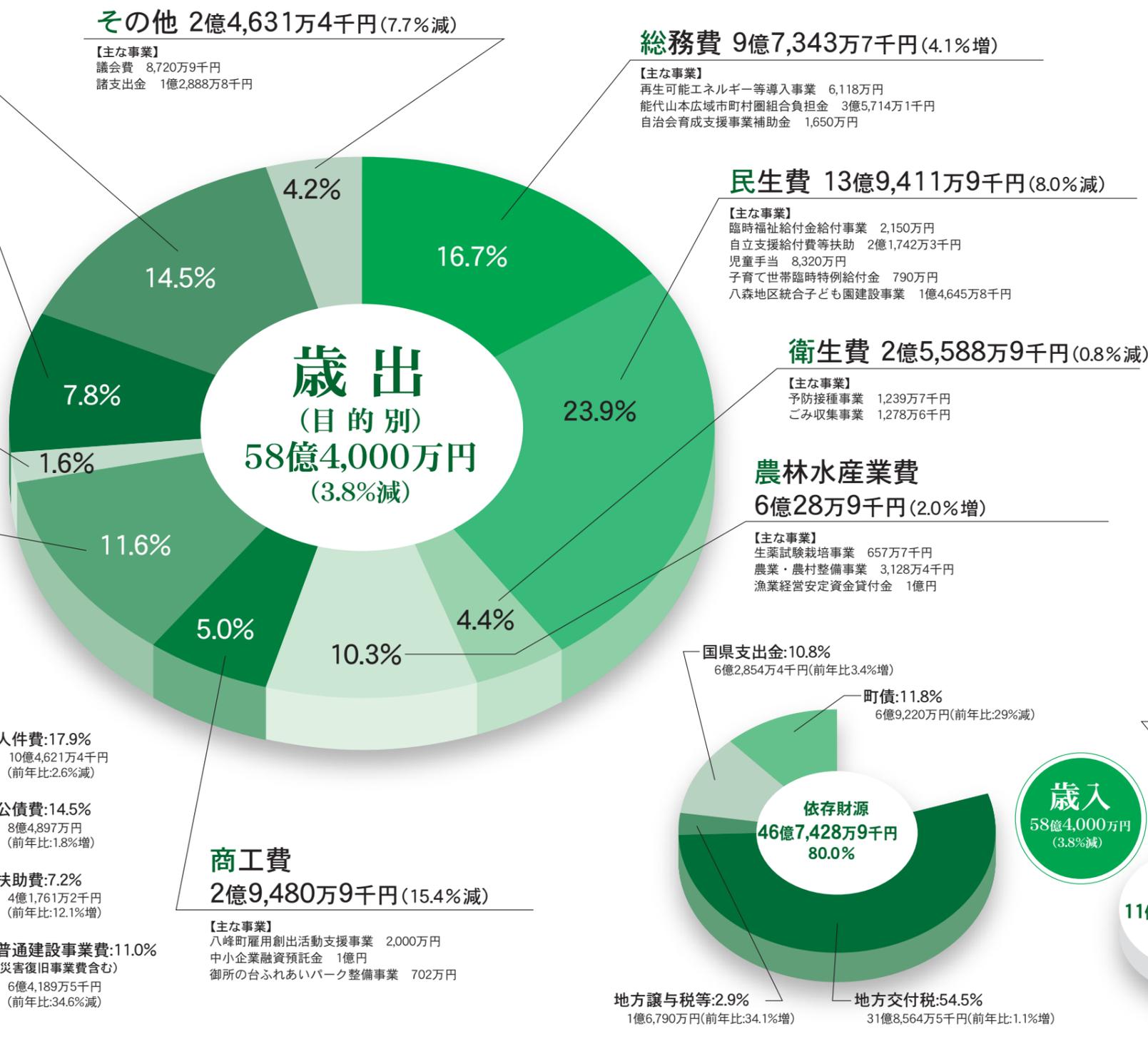


八峰町予算概要をお知らせします

一般会計予算は58億4,000万円

今年度の一般会計予算は総額58億4,000万円、当初予算としては4年ぶりに減額となりました。

今年度の予算編成にあたっては、地方財政を取り巻く厳しい状況を勘案し、自主財源の確保や地方債の選択・抑制による地方債残高の圧縮努力など健全財政の維持を図りながら、安全・安心な生活環境の整備、地域経済を支える地場産業の振興と町民生活向上の諸課題に留意しました。



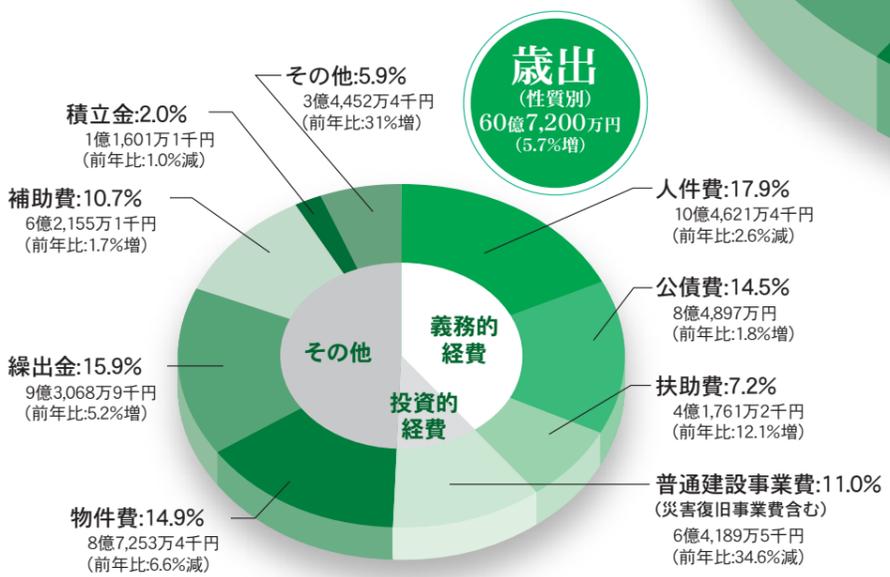
公債費 8億4,897万円 (1.8%増)

公債費とは町債などの返済金のことです。

教育費 4億5,674万円 (10.1%減)

消防費 9,557万9千円 (14.6%減)

土木費 6億7,385万4千円 (4.3%減)



各特別会計の予算額 (単位: 千、%)

会計別	平成26年度	平成25年度	前年比
国民健康保険	1,155,919	1,165,418	▲0.8
介護保険事業	1,260,973	1,045,840	20.6
後期高齢者医療	84,192	83,209	1.2
沢目財産区	5,937	4,057	46.3
簡易水道事業	929,744	643,753	44.4
公共下水道事業	331,896	360,872	▲8.0
農業集落排水事業	83,948	66,814	25.6
漁業集落排水事業	63,218	66,290	▲4.6
合併処理浄化槽事業	3,191	3,156	1.1
町営診療所	74,042	92,474	▲19.9
合計	3,993,060	3,531,883	13.1

平成26年度 特別会計予算

町には一般会計とは別に、10の特別会計があります。

平成26年度の予算総額は39億9,306万円で、前年度の当初予算と比較すると13.1%の増となっています。

(注2) 依存財源とは国や県から交付を受けたり、町債として町が借り入れるお金です。

■歳出

目的別では民生費が13億9,411万9千円でトップ。ついで、総務費、土木費と続いています。また、性質別では人件費、公債費、扶助費の義務的経費が23億1,279万6千円で歳出全体の39.6%を占めています。

一方、地方交付税や国・県支出金などの依存財源(柱2)の割合は80%となっています。

収入全体の8割が国や県に頼る厳しい財政状況となっています。

■歳入

自主財源(注1)の柱である町税は5億3,495万3千円で0.3%、分担金及び負担金は2,862万2千円で0.1%、前年度より増となっているほか、財産収入が13.2%減となっています。

自主財源全体では11億6,571万1千円で前年度より4.0%減少しており、収入全体うち自主財源は20%にとどまっています。